

長尾福祉会報



認定こども園高松くりの木学舎のこどもたち

—長尾福祉会理念—

障害をもっているも っていないなくても 男も女も

「生まれておめでとう・成長しておめでとう・長生きしておめでとう」といえる
社会づくりをめざします。

ご 挨拶

最近インフルエンザも大流行の兆候があり以前のような季節性もないような状況です。新型コロナも大騒ぎこそしなくなったものの依然として高い水準で感染が広がっており今年の夏の猛暑といい世の中の気候の構造までが
いびつに感じられるのは私だけではないように思います。

また、次の脅威として言われているのが近くでは南海トラフ地震をはじめとする日本列島の地震に対する備えではないでしょうか。福祉施設は避難弱者といわれる方が多く利用しており一度地震が起きると限られた職員で即時にすべての利用者の命を守る行動をとらなければなりません。そのためにも事業を継続する体制づくりと日々の訓練が大切になってきます。ここ数年のコロナの経験を経て、職員もより緊張感を持つとともにエッセンシャルワーカーのプライドをかけて準備をしていかなければならないと思います。

この子ども達の笑顔や日本をずっと支えてきた尊い利用者のこれからの生活を守るために。

社会福祉法人長尾福祉会 理事長 森田 浩之

のぞみ園



女子寮



「びっくり!フルーツポンチ」

生活支援員 福田 かや

7月25日、お誕生日会でメントスコールを利用しておやつ作りを行いました。フルーツ缶やゼリーを入れたポウルに、ジュースを置いてメントスを入れると、溢れたジュースで大きなフルーツポンチの完成!皆さん、笑顔や驚きの表情を見せた後、美味しそうに頬張っていました。

久しぶりのおやつ作りとなりましたが、感染症対策の緩和とともに、皆さんに楽しんで頂けるイベントを取り入れていきたいです。



男子寮

「スポーツ大会に向けて」

生活支援員 山石 久

新型コロナウイルスが落ち着き5類に移行したことで、今年度より色々なイベントが再開されています。3年ぶりに行われるフライングディスク大会や香川県障害者スポーツ大会に向けて練習を行いました。利用者の皆様も、久しぶりにスポーツ大会に参加出来ることを楽しみにしており、練習にも意気込んでいる様子が見られています。

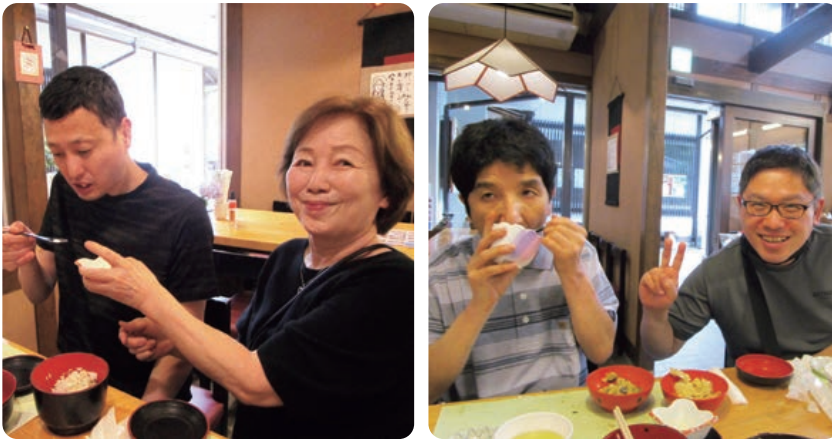


南寮

「久しぶりの遠足」

生活支援員 岩田 俊輔

6月8日に南寮で遠足に行きました。久しぶりの遠足であったため、みなさんとても楽しみにしている様子でした。竹屋敷に行き、うどん・天ぷら定食を食べました後は、お遍路交流サロン、亀鶴公園へ行きました。雨も降らなかったため、ゆっくりと散策することができました。また次回の遠足も、楽しいものになればと思います。



就労B

「働く楽しさ」

職業指導員 木村 佳央

新型コロナウイルスの影響で仕事がない日もありました。その時、改めて仕事ができるありがたさに気が付いたと利用者さんも話されていました。

今は、コロナも徐々に落ち着き、以前のように仕事に戻ってきました。大変な時もありますが、仕事がない時に比べれば嬉しい悩みです。皆さん、忙しい時も笑顔が多く見られ、働く楽しさを実感できているようです。



「スポーツレクリエーション大会」

生活支援員 内原 宏子

6月13日ツインパル長尾にて、3年ぶりのスポーツレクリエーション大会が行われました。

玉入れ、綱引き、パン食い競争など、今年度は寮ごとに分かれて競い合いました。みなさん久しぶりのスポレクの競技に賑わい、たくさんの方が笑っていました。



「フライングディスク大会」

生活支援員 谷本 久美子

6月16日、コロナ禍で中止になっていたフライングディスク大会が3年ぶりに飯山総合運動公園で行われました。のぞみ園からは6名の選手が、ディスクダンス、アキユラシーの競技にチャレンジし、それぞれ成果を出し記録や記憶に残る一日となりました。



児童デイサービス

「児童デイのグループ活動」

保育士 西 詩織

季節に応じた活動が難しかった昨年までとは変わり、今年はおやつ作りや買い物、外出など状況を見て少しずつ行っています。今年の夏は熱中症警戒アラートが発表されることが多く、屋外での活動が難しいこともありました。その様な中でも、室内プールの中に入れた水やウォーターボールに触れ、大好きな水遊びにみんな夢中で楽しんでいました。子ども達が経験し、感じたこと・身につけたことがこれからの成長へと繋がるよう、安心して楽しい活動ができるようにしていきたいです。



特別養護老人ホーム

ゆたか荘

祭

納涼夏祭り

介護副主任

齋藤

暢規

8月27日、コロナ感染予防を講じながら納涼夏祭りを開催しました。

当日、看板を設置し音楽が流れたすといつもと違う雰囲気にご利用者も何が始まるのだろうかという期待に満ちた表情が見られました。施設長からの挨拶を合図に職員と共に屋台をめくり、皆さんで『美味しそうやなあ』などと会話や食事を楽しみました。

その後、4年ぶりに外部からナチユラルトーン様をお呼びし、演奏を楽しみました。迫力ある演奏に大きな拍手を送られ、皆さん笑顔で『今日は楽しかった』と喜ばれておりました。行事に参加する事で普段とは違ったひと時を過ごせ、充実した一日となったようです。来年こそはご家族と共に楽しめる夏祭りになる事を祈っております。



七夕祭り

1階介護職員

古川 亜紀子

ゆたか荘では7月7日に七夕祭りを行いました。七夕の音楽と共に七夕の由来に耳を傾けた後は、いよいよ飾り付けの開始です。ご利用者・職員共に自分の願い事を書いた短冊などを飾りました。短冊の文面を見ながら笑い合ったり感心したりと笑顔が絶えません。彩りが美しい『七夕そうめん』など、食事も含め七夕を満喫した一日となりました。



木田地区医師会准看護学院実習の受け入れ

看護主任

湯野川 美和

木田地区医師会准看護学院より10名の生徒が4日間に分かれ来られました。施設看護師の役割・業務についての説明を行い、見学、実地実習も行っていました。講義で学んだことを実際に体験し、病院とは違った対応など分からないことや疑問に思ったことは質問し、しっかりメモを取られていました。臨床で求められる情報収集力やアセスメント力の大切さ、またご利用者の個別対応の大切さや職種連携の大切さを学ぶ事ができたのではないかと思います。

たくさんのお話を吸収しようとする姿勢を見て、私達職員にも初心を思い出させてくれる良い機会となりました。看護実践指導者として役割モデルになるよう自己洞察力を深める事ができ貴重な時間であったと思います。



介護福祉士として

1階介護職員

岡本 彩也加

4月にゆたか荘の介護職員として入職し、日々ご利用者の方の生活の援助に携わらせていただいています。まだまだ戸惑いを感じる事も多く、先輩職員の方に助けて頂きながら業務にあたっています。3月までは学生という立場で、実習生として介護の現場を学んできましたが、現場では今までの実習と大きく違う事があり難しさを感ずる場面もあります。しかしご利用者の方からの『ありがとう』という言葉を励みに業務に取り組んでいます。これからもご利用者の方が安心した生活を送れるよう、頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



介護福祉士国家資格をめざして

2階介護職員

後藤 新一

令和5年4月よりゆたか荘で介護職として働かせて頂いています。私は高校を卒業して、すぐにゆたか荘へ就職しました。介護に関する資格はないため、介護福祉士の資格取得を目標にゆたか荘で介護を学びながら働いています。先輩や上司の方々に優しくご指導を受け、7月から一人勤務を行っています。介護の技術も知識もまだまだ未熟な為、今後も技術を高め知識を深めていく事で一人前の介護福祉士になれるよう努力していきます。



デイサービスゆたか



四季を見て、感じて…
 介護職員 福家 淳司

コロナウイルス感染症が発生して早や4年が過ぎ、行動規制等今までの生活が一変することを経験しました。今尚終わりの見えない感染症ではあります、今年度に入り5類感染症に移行したことを受け、私たちの気持ちも徐々に明るい方向へ変わりつつあります。

デイサービスでも4月より感染症対策を継続しながら外出行事も再開しました。

四季を身近で見えて触れることによって、生きる活力に繋がっていただければと願っています。

『楽しみを持って生活をする』ご利用者に関わらず、私たち職員も皆、想いは一緒です。



高齢者複合施設

ハーティヴィラ亀鶴



自然のめぐみに感謝です

ショートステイセンター・ケアスタッフ 谷口 陽子
 ハーティヴィラ亀鶴の中庭に、小さな家庭菜園ができました。ご利用者のみなさんは、花が咲いたり実がなったりするのを心待ちにしていました。

収穫の時期には、なす、きゅうり、ピーマン、すいかがお目見え!!FDL 職員の協力で、収穫した野菜は毎日の献立に盛り込んでもらいました。また、すいかの入刀式(!?)は大変盛り上がりました。自然のめぐみに感謝しながらおいしくいただきました。

みなさんの笑顔も味も、サイコー!!な夏でした。





認定こども園 高松くりの木学舎



「ゆるやかな担当制保育について」

たんぼ組（1歳児） 松浦 星羅

本園の未満児クラスでは、ゆるやかな担当制保育を行っています。担当制保育とは、「〇〇ちゃんには〇〇先生」というように特定の保育者が食事・排泄・着脱などの基本的な生活習慣を一人ひとりの生活リズムやペース、発達に合わせた行い、信頼関係や愛着を築いていく保育です。担当の保育者が決まっていることで、子どものちょっとした変化や成長にも気付くことができ、子どもの性格や特徴が分かっているれば、その子にあった声かけや援助をすることが出来るので、子どもたちも落ち着いて過ごすことができます。また、食事やおむつ交換などを担当の保育者にしてもらうことによって、愛着関係が形成され、子どもたちと信頼関係を築くことができます。

これからも子どもたちの成長を保護者の方と共有しながら、側で見守っていきたいと思っています。

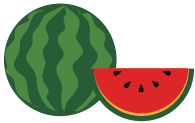


「栽培活動を通して豊かな経験を」

副園長 津崎 なお

園庭の端の花壇に、スイカが数個日々育っています。園芸係（職員）を中心に、「子どもたちにスイカの生長を見せたいね、どうやって育つか伝えたいね」「毎日通る側ならよく見えてわかりやすいかも」など、様々な思いが詰まった新しい試みです。少しずつ大きくなるスイカに、子どもだけでなく大人にとっても子どもに関心をひかれるようで、登降園時の様子を見ていると、年齢に関係なく子どもたちや保護者の方が足を止めています。「おいしそう！」「おおきくなってる！」「なんかかわれるー！」、いろいろな声が聞こえてきます。また、スイカの接地面には腐敗防止のお皿を敷いていて、それはよく見ないとわからないのですが、それに気がついた子が「なんでパンツはいとん？」「質問してきたというエピソードも。その観察力と発想の面白さに」「子どもってすごい」と改めて感じたのでした。

園庭には、スイカの他にもいろいろな野菜を育てています。収穫して食べる喜びももちろんですが、常に変化する過程の中で、形状や手触り、匂いなど、様々な経験ができます。それぞれの気づきや不思議に出会い、多様な感情体験を重ねながら、好奇心や探求心、「こうなればこうなる」と見通す思考力が育っていくといいなあと思っています。



「夏野菜のクッキング」「ピザ作り」

管理栄養士 太田 麻里子

くりの木学舎の園庭には、今年もたくさんさんの夏野菜が実を付けました。子どもたちが育てているなすび・ピーマン・オクラ・枝豆たちです。3歳・4歳児は、育てた夏野菜を使ってピザクッキングをしました。のぞみ園で作ってもらったピザ生地、ケチャップをぬり、具材をトッピングして、給食室で焼きました。「ピザ焼けた？」と心待ちにする言葉や「カリカリしてる。おいしいね」「もっと食べたい」とパクパク食べていました。子どもたちが苦手と言われがちな夏野菜を美味しく食べてもらえるように、献立や食育を工夫していますが、子どもたちは、調理を見たり、携わることで、こちらの期待以上に食を楽しみ、意欲的に食へる姿を見せがてくれます。子どもの豊かな感性や成長に接し、食育の意義を感じることができました。



「自然の中で」

かぜ組（5歳児） 山仲 貴子

姉妹園長尾学舎近くの田畑に、子どもたちが植えたさつま芋の水やりと稲の観察に行きました。田んぼでは「うわあ、葉っぱが増えている」と青々と伸びた稲の生長に気がつく子がたくさんいました。カフトエビやアメンボやおたまじゃくし、田んぼの生き物に興味津々。「早くお米が食べたいね」と今から楽しみにしている子どもたちでした。

田んぼの観察の後はさきき市門入の郷で川遊び。「気持ちいい」と水の冷たさを感じながらお風呂気分ですり込んだり、友だちと水のかけ合いっこ。「何かいるかな？」と生き物や石を探して思いっきり楽しんでいました。園長先生にやり方を教えてもらい、網を使って川エビ取りに挑戦。捕まえると嬉しそうに飼育ケースに入れていました。捕まえた生き物はくりの木学舎に持ち帰り、興味を持って自分たちで調べたりしていました。





認定こども園
長尾学舎



栄養満点！長尾学舎の給食

保育教諭 廣松 奈那子



6月17日(土)に、給食参観を行いました。新型コロナウイルス感染症対策も緩和しつつあり、園内に入つての参観は、保護者や私たち保育教諭にとっても、ゆつたりとした空間の中で情報交換が出来る良い機会となりました。また、あらかじめ給食で大切にしていること、取り組んでいることを保護者に伝えていたことで、同じ視点から子どもの様子を見ることができていたのではないかと思います。苦手な食べ物にも挑戦したり「おいしい！」と言葉にし、一人で全部食べようとすする姿から、無理なく「食べる意欲」へと繋がっていたようでした。「全部食べた！」「頑張ったよ！」と、お父さんやお母さんに見せる一人ひとりの表情が達成感にあふれ、親子で喜びを分かち合う場面も見られました。

引き続き、家庭と園で連携し、共通理解を図りながらよりよい食生活が送れるようになっていきたいと思います。



おいしく、おおきくな〜れ！

ぎんがくみ(5歳児) 濱本 千尋

今年度、玉ねぎの収穫でもお世話になった、近所の有友さんの田んぼをお借りして、6月9日(金)に5歳児ぎんが組が田植えを行いました。田植えに向かう前から「泥だんご作りたい」「アメンボいるかな」等、田んぼに入ることを楽しみにしている様子が見られました。泥に沈んでいく足を持ち上げて歩くことは難しく、何度も転びそうになりましたが、田植えは楽しく、黙々とたくさん植える子どももいました。また、初めての経験のため田んぼに入ることに戸惑う様子も見られましたが、お手伝いに来て下さった法人職員にも優しくサポートしてもらったこともあり、田植えが終わった後は笑顔で「楽しかった！」と担任に伝えに来る等、自分で苗を植えられることに達成感や満足感を感じているようでした。



楽しみにしていたプール遊び

つきぐみ(4歳児) 高嶋 彩加

今年度は例年より早い6月26日(月)にプール開きを行いました。楽しみにしていたプールを目の前にすると「わー！プールや！」と大喜び。いざ水に入れると「つめたーい！」と言いつつも笑顔で入っていく姿がありました。水に慣れてくるとフニになりきり保育教諭の足の間をくぐったり、手や足で水しぶきを上げながらかけ合ったりと大胆に楽しめるようになってきました。

つきぐみは、顔を水につける遊びに挑戦しようと思っています。水に顔をつけるのが苦手な子でも怖がらずに顔つけが出来るような工夫をして楽しく遊べるようにしていきたいと思えます。





寄付金の贈呈

香川県長寿社会対策課の推薦を受け、特別養護老人ホームゆたか荘へ「讃州木守会」(松平頼武様代表)より寄付金の贈呈がありました。



勤続20年表彰を受けて

長尾学舎 園長 森田 末歩

この度、コロナ禍で3年振りとなった「勤続20年表彰」があり、表彰状をいただき誠にありがとうございました。この表彰は私にとって身に余る光栄であるだけでなく、現在までの勤続23年を振り返る良い機会となりました。
 長きにわたって務めることができたのは理事長始め、先輩方、同僚、支えてくださった皆様のおかげと心より感謝しております。
 これからも初心を忘れずに、法人と地域に貢献できるように仕事に精進してまいります。引き続きご指導のほど宜しくお願いいたします。

2023年度 日本郵便年賀寄付金の助成を受けて特殊寝台等を整備しました。



ご支援ありがとうございました

- 佐次 喜壽 様
- 株式会社 さぬきベジファーム 様
- 木岡 千恵 様
- 松岡 花菜 様
- なす み 様
- 冬木 すみ 様
- 読み聞かせボランティア おはぎ 様

令和4年度の法人の経営状況 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

単位:千円

法人単位の資金収支の状況

科目	金額
(1)事業活動資金収支差額	93,104
①事業活動収入	1,362,939
介護報酬、支援費収入、利用者負担金収入、その他収入など	
②事業活動支出	1,269,834
人件費支出、事業費支出、その他支出など	
(2)施設整備等資金収支差額	-49,722
①施設整備等収入	
施設整備等補助金収入、設備資金借入金収入	1,946
②施設整備等支出	
設備資金借入金元金償還金支出、固定資産取得支出	51,668
(3)その他の活動収支差額	-11,167
①その他の活動収支	
積立資産取崩収入、事業区分間長期借入等	5,076
②その他の活動支出	
積立資金積立支出、事業区分間長期貸付等	16,243
当期末資金収支差額	32,214
当期末支払資金残高	449,254

貸貸対照表(令和5年3月31日)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	466,310	流動負債	70,451
現金預金	283,839	事業未払金	15,587
事業未収金	181,988	設備資金借入金 (1年以内返済予定)	20,000
原材料	105	未払費用	1,035
立替金	322	職員預り金	0
仮払金	55	仮受金	328
固定資産	2,534,146	賞与引当金	33,500
基本財産	1,888,799	固定負債	389,788
土地	401,182	設備資金借入金	300,000
建物	1,487,617	退職給与引当金	89,788
その他の固定資産	645,346	負債の部合計	460,240
土地	41,000		
構築物	131,332		
機械及び装置	24,234		
車輛運搬具	4,367		
器具及び備品	65,179		
ソフトウェア	9,909		
退職給付金引当資産	37,146		
施設整備特別積立資産	10,000		
人件費積立資産	10,000		
修繕費積立資産	20,000		
備品等購入積立資産	20,000		
減価償却積立資産	219,534		
退職積立資産	52,642		
資金の部合計	3,000,457		

法人単位の事業活動の状況

科目	金額
(1)サービス活動増減差額	8,502
①サービス活動収益	1,346,887
②サービス活動費用	1,338,384
(2)サービス活動外増減差額	-3,922
①サービス活動収益	16,051
②サービス活動費用	19,974
(3)特別増減差額	0
①特別収益	1,946
②特別費用	1,946
当期活動増減差額	4,580
前期繰越活動増減差額	1,341,176
当期末繰越活動増減差額	1,345,757
その他の積立金取崩額	0
その他の積立金積立額	-3,973
次期繰越活動増減差額	1,349,731

編集後記

厳しい暑さも遠のき、過ごしやすくなる季節になりました。コロナウイルスがら類に引き下げられたことで、待ちに待った園外でのイベントが行えた今年の夏。久しぶりのイベントに参加できる喜びと、楽しんでいただいている皆さんの笑顔を見ることができて、私も嬉しくなりました。「コロナ禍での出来事を学びと捉え、当たり前ではない。日常に感謝を忘れずにいきたいと思います。」(のぞみ園 福田)